

TIME Groove

—あの時の演奏と私たちの動きが、
新しい音楽を生み出す—

あの時の演奏は現代の私たちの心をも揺さぶる。

アトリウムにいる私たちの動きをアトリウムでの過去の演奏に影響させ、
新たなグルーブを創り出す。

こうして生み出された見えない音楽を「見える化」する。

アトリウムの人々が演奏に影響を与える

人感センサーが人の位置、人数、動きを把握し、演奏に変化を与える。

アトリウムが体験空間、インスタレーションとなる。



音の変化が表現へ反映

音の変化が表現へ反映
大きさ・リズム・響き・音程・速さ

本来見えない「Groove」の可視化

「Groove」とは音楽におけるリズムや音のうねり、ノリと行った曖昧な概念である。

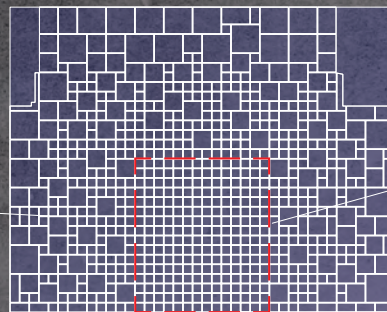
本来目に見えない Groove を可視化察せる。

立体音響

→音の再現

内照 LED

→曲調



キネティックウォール

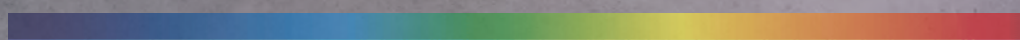
→音のうねり

□立体音響によるそのホール、スタジオの反響具合、音の質を再現

□曲調の色彩表現—音楽にも感情は存在する。音楽の情緒を色彩で表す。

Calm

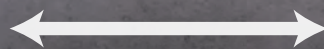
Intense



□音のうねり—演奏間で生まれるズレが人と音源が生む



音楽



人

